



令和7年度林業イノベーションハブ構築事業

第3回 デジタル分科会 デジタル林業戦略拠点づくり事務局資料

日時 | 令和8（2026）年 1月 28日（水） 10:00～12:30

場所 | 日林協会館 3階 大会議室

Web会議「Webex」を併用



一般社団法人 日本森林技術協会

Japan Forest Technology Association

1. 全体の進捗

1. 第2回デジタル分科会の振り返り
2. コーディネータ派遣の進捗状況（スケジュール等）
3. デジタル林業戦略拠点3地域のチェックリストの結果
4. デジタル林業戦略拠点3地域の導入効果額算定の結果

3. デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック（仮称）

1. ガイドブックの概要
2. 伴走支援ツール：チェックリスト
3. サプライチェーン指標

4. その他

1. 林野庁からの情報提供（参考資料4）
2. 今後のスケジュール（シンポジウム等）

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り（概要）①

日程

令和7（2025）年10月22日（水）10:00～12:30

会場

日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

次第

- (1) 今年度の3地域まとめ
 - ・ 事業の最終報告書（様式）
 - ・ 2月のシンポジウムについて
- (2) デジタル林業実践事例調査および分析
- (3) デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック
 - ・ 目次構成（案）
 - ・ サプライチェーン指標の方向性
 - ・ 進捗度チェックリストについて
 - ・ 導入効果額算定表について
- (4) 現地ワークショップの開催結果



写真 第2回デジタル分科会 開催風景

参加者

- 【委員等】 伊呂原 隆（上智大学 理工学部 情報理工学科 教授）
御田 成顕（森林総合研究所 林業システム研究室 室長）
高橋 伸幸（群馬県森林組合連合会 総務部長）
中澤 昌彦（座長、森林総合研究所 収穫システム研究室 室長）
岡田 広行（住友林業株式会社 森林ソリューションG グループマネージャー）
- 【デジ林3地域：Web】 北海道地域、静岡地域、鳥取地域
- 【事務局】 林野庁、日本森林技術協会

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り（概要）②

指導・助言、意見等（抜粋）

| 項目 | 内容 |
|--|--|
| 分科会 | デジタル林業戦略拠点の取組整理 |
| | □ 既存3地域の取組について、 広域展開と新規地域展開の両立 が必要 |
| | □ （北海道）開発したSCMシステムの 市販化・他地域展開 に向け、利用者数・課金方法等の実現性が論点 |
| | □ （静岡県）県中部・西部での 活用加速と効果検証 を年度末までに実施 |
| | □ （鳥取県） 体制構築や取組フェーズ を整理し、他地域に資する情報発信が重要 |
| | □ 実地利用とデータ蓄積により、 SCMの可視化・分析・最適化 への段階的進展が期待 |
| | デジタル林業実践事例の調査・分析 |
| | □ 群馬県森林組合連合会、高知県仁淀川町の事例を共有 |
| | □ 効果検証は「作業効率化」に留めず、 利益・収益向上まで評価 する必要 |
| | □ 効果指標は可能な限り システム内データに基づく算定 が望ましい |
| | □ 地域差を踏まえ、 取組経緯・動機の類型化 が必要 |
| | デジタル林業戦略拠点づくりガイドブックに関する整理 |
| □ 流通構造を、 需要・主体・資源 の視点から図化 | |
| □ 現状と将来像の双方を示し、 類型化されたフロー で提示 | |
| □ 原木サプライチェーンマネージャーの所在に着目し、 4類型 で整理案 | |
| □ 在庫管理は山土場に限らず、 木材が集積する拠点 で評価 | |
| □ 在庫回転率・リードタイムを踏まえ、 タイムリーな伐出・搬出 の重要性を整理 | |
| □ 金融機関は必須ではないが、 助言的立場での参画 が有効 | |